

氏名 (法人にあっては名称)	中部電力ミライズ株式会社
住所	愛知県名古屋市中区東新町1番地

自 社 等 発 電 所 (*1) の 有 無	無		
電 気 事 業 の 概 要	1. 電気事業 2. ガス事業 3. エネルギー関連の機械器具および設備の製造、販売、賃貸、リース、修理、運 転および保守 4. 蒸気、温水、冷水などの熱供給に関する事業 5. 電気通信事業法に定める電気通信事業 6. 各種情報の収集、分析、処理、加工、提供および販売に関する事業ならびに広 告事業 7. エネルギー利用、環境および前各号に関する調査、エンジニアリングおよびコ ンサルティング 8. 法人および個人向け各種支援サービスの提供および斡旋 9. 会員向け優待サービスの提供および斡旋 10. 銀行代理業、電子決済など代行業その他金融サービス業 11. 割賦販売法に定める信用購入あっせん 12. 資金決済に関する法律に定める前払式支払手段の発行および資金移動業 13. 損害保険代理業、自動車損害賠償保障法に基づく保険代理業および生命保険募 集業その他保険媒介代理業、保険サービス業 14. 前各号に附帯関連する事業		
電気の供給における 温室効果ガスの排出 の 状 況	年 度	基礎二酸化炭素排出量	把握率
	前年度実績（ 2023 年度）	45,549 （千t-CO ₂ ）	99.04 （%）
	・市内のみの数字が確定できないため、全国値を使用しております。		
電気の供給における 温室効果ガスの排出 の量の抑制に関する 措 置 の 実 施 状 況	年 度	基礎排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)
	前年度目標（ 2023 年度）	なし（kg-CO ₂ /kWh）	なし（kg-CO ₂ /kWh）
	前年度実績（ 2023 年度）	0.439※（kg-CO ₂ /kWh）	0.393※（kg-CO ₂ /kWh）
	（措置の実施状況）		
	中部電力グループでは、安全の確保と地域の信頼を最優先に原子力発電の活用 に取り組むこと、非効率石炭火力電源の調達を見直すとともに、石炭火力へのアン モニア混焼を推進すること、高効率火力電源を活用すること、再生可能エネル ギーの開発を促進することなど、総合的な取り組みを続けることで、地球温暖化 対策に取り組んでおります。中部電力グループとして、2030年度において2013年 度比▲50%の二酸化炭素排出量の削減を目標として掲げています。 （注）記載のCO2排出係数は暫定値であり、正式には「地球温暖化対策の推進に関 する法律」に基づき、国から確定値が公表されます（12月頃）。		

*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。

*2 基礎排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量（基礎二酸化炭素排出量）を市内への電気の供給量（電気供給量）で除したものをいう。

*3 調整後排出係数とは、基礎二酸化炭素排出量に固定価格買取調整二酸化炭素排出量を足したのから、電気事業者が排出量調整無効化した国内及び海外認証排出削減量等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置の実施状況	自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置の実施状況		
	年 度	再生可能エネルギー発電量(*4)	再生可能エネルギー導入率(*5)
	前年度目標（2023年度）	なし（千kWh）	なし（％）
	前年度実績（2023年度）	0（千kWh）	0.00（％）
	（措置の実施状況） 自社等発電所（自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所）は保有していません。		
調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置の実施状況	調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置の実施状況		
	年 度	環境価値の確保量(*6)	環境価値の確保率(*7)
	前年度目標（2023年度）	なし（千kWh）	なし（％）
	前年度実績（2023年度）	—（千kWh）	—（％）
	（措置の実施状況） ・中部電力グループは、引き続き、再生可能エネルギーの普及拡大に向けて、コストダウンに努めつつ、他事業者との連携も視野に入れて積極的に開発を行っております。 ・固定価格買取制度（FIT制度）の買取期間満了を迎えるお客さま向けの買取サービスや、お客さまの店舗や工場等の屋根をお借りし太陽光発電による電気をご利用いただける「オンサイトPPAサービス太陽光の自家消費サービス」やお客さま敷地外の専用発電所から電力系統設備を介して再生可能エネルギーをお届けする「オフサイトPPAサービス」等の低炭素に繋がる新しいサービスを提供しております。 ・脱炭素社会の実現に向け、お客さまのニーズに寄り添ったCO2フリーメニュー等の地産地消サービス等、新しいサービスを提供しております。 ・環境価値の確保量は、当社の営業戦略に関わるものであり、実績は回答を控えさせていただきます。		
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置の実施状況	廃棄物等の未利用エネルギーを利用して発電した電力を調達してまいりました。		
火力発電所における熱効率の向上を図るための措置の実施状況	当社は火力発電所を保有していません。		
本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組の実施状況	・ご家庭向け会員サイト「カデエネ」や、法人・事業者のお客さま向け会員サイト「ビジエネ」などを通じて日ごとの30分電力量の確認や、当月使用量及び前年同月値との比較を棒グラフと表にて情報提供するなど、お客さまに省エネ意識を向上頂けるようサービスの提供をしております。 ・家電製品（LED、冷蔵庫、エアコン、電子レンジ、コンセントプラグ等）の省エネ豆知識の情報提供や、使用方法の工夫による削減量・額の目安を提供しております。 ・気温の状況や自社アンケートにより入手したお客さま情報を基にした、類似のお客さま群との使用状況に関する比較情報を、毎月の電気使用量に関する省エネ分析レポートを作成し当該レポートと合わせて、省エネアドバイザーに関する情報を提供しております。 ・エコキュートの省エネ性と、ZEH・ZEH補助事業に関する情報の提供や、エコキュートなどのオール電化機器の購入キャンペーンに関する情報をメールマガジンで提供しております。 ・電気の使用量がお客さまの設定値に達した翌日にメールでお知らせしております。		
その他の地球温暖化の防止に貢献する取組の実施状況	・オフィス内での省エネ・節電の取組みを行っております。 ・中部電力グループとして、流水の清潔の保持や地元企業と連携し森林保護の活動や、川岸・海岸の清掃活動を行ってまいります。 ・環境に配慮した行動が自発的に出来る人材を育成するべく、次世代層に対する教育支援活動の展開や、地元大学と産学連携を結び、エネルギー環境教育による環境研究・活動および実施を行っております。 ・CO2削減のための研究（温水ヒートポンプ、超コンパクトモジュール型ハイブリッド熱処理炉、スマートハウス等）を行っております。 ・国の「GXリーグ基本構想」にもとづいて設立された「GXリーグ」に参画し、CO2排出量削減に向けた取り組みを着実に進めております。		

*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー（太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの）による発電量のうち市内分をいう。

*5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分で除いたものをいう。

*6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量及び他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量であって、当該電気に係る非化石証書を自社で無効化（償却）することによって環境価値を有するもの並びに購入した再生可能エネルギー電気由来の環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。

*7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分で除いたものをいう。

*8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物（バイオマスを除く）の燃焼熱、超高圧地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。